

第 31 回グランドマスター試験 解答例

《自然》

【解答例】(235 字)

魚竜や翼竜の化石が見つかった獅子島は化石の島と呼ばれ、白亜紀の地層からアンモナイト、イノセラムス、三角貝などの貝化石を採取することができる。また、下甕島の白亜紀の地層から恐竜の肋骨や歯の化石が見つっている。この白亜紀の地層が露出する、高さ 200 メートルにもおよぶ海蝕崖が連なる鹿島断崖は壮観で、下甕島の西海岸に連続し、ナポレオン岩に代表される小島が点在する。甕大橋の開通で 3 つの島が陸続きになったことで、恐竜化石が見つかった白亜紀の地層を容易に観察できるようになった。

《歴史》

【解答例】(226 字)

慶長 14 年(1609)、鹿児島藩初代藩主島津家久は徳川家康の許可を得て、琉球国を侵攻した。樺山久高を総大将とする兵 3000 人は 100 隻の船で 3 月山川港を出航、奄美大島と徳之島で激しい戦闘があったが、島民は鉄砲の威力に屈した。沖永良部島と与論島は戦わずして降伏、沖縄の西海岸に上陸し、4 月には首里城を接收した。5 月には琉球国王尚寧ら高官を人質にして鹿児島に凱旋した。さらに江戸で 2 代将軍秀忠に謁見した。琉球国を併合した鹿児島藩は 7 2 万石の大大名となった。

《文化》

【解答例】(198 字)

共に端午の節句の供え物である。あくまきは灰汁に浸したモチ米をモウソウ竹の皮に包み灰汁で数時間かけて煮る。保存がきくため戦国時代には兵士の携帯食に用いたと伝えられる。粘り気が強いため糸や竹の皮を細く裂いて切り分け、きな粉や砂糖などをまぶして味わう。かからんだごは米粉に生あん、砂糖などを加えてサルトリイバラの新葉に包んで蒸し上げる。ニッケイの葉を用いることもあるが、その場合は「けせんだご」となる。

《産業経済》

【解答例】(229 字)

本県肉用牛の令和3年の飼養頭数は351千頭で、北海道に次いで全国2位(シェア:13.5%)。また、肉用牛の中でも肉質の優れた黒毛和種の同年の飼養頭数は334千頭で、全国1位(シェア:18.9%)となっている。飼養戸数は、高齢化や後継者不足等から小規模層を中心に減少傾向で推移しており、令和3年は約7千戸となっている。その一方で、1戸当たりの飼養頭数は増加傾向にあり、年々規模拡大が進んでいる。肉用牛は県内全域で飼養されており、最も生産が盛んな地区は肝属地区となっている。

《地域》

問5. 外海離島の2村に関して次の問に答えなさい。

【1】三島村に関する文章の空欄に当てはまる語句を記入しなさい。

三島村の竹島・硫黄島・黒島は、2022(令和4)年4月に、薩南海岸県立自然公園に続いて県内10か所目となる①みしま県立自然公園に指定された。

鹿児島港から南へ100kmの洋上に点在する三つの島からなる三島村は、役場の本庁が鹿児島市にあるという特異な村である。

三島村を構成する三島の特徴として、竹島は、②たけのこ生産と畜産が盛んである。硫黄島は島内の至るところに温泉が湧き出しており、なかでも、硫黄岳を背景に岩場に湧き出た秘境の露天風呂である③東温泉は、日本の名湯百選に選ばれている。黒島は他二島に比べ原生林が多く自然豊かな島であり、現在は畜産が島の基幹産業だが、昔は④木炭(炭)の産地であった。

また、2015(平成27)年9月には、⑤三島村・鬼界カルデラジオパークとして、日本ジオパークに認定された。約7,300年前に起こった破局噴火と、その後の火山活動によって形作られた地形・地質などの自然は見どころとなっている。

【2】

【解答例】(211 字)

十島村は、七つの有人島と五つの無人島からなり、屋久島と奄美大島の間に点在するトカラ列島を形成している。南北 162 kmに及ぶ行政地域を有し、日本一長い村となっている。戦前は、三島村を含めじっとうそんと呼んでいたが、昭和 27 年の日本復帰後は、七島だけをとしまむらと呼ぶようになった。島々は火山、珊瑚礁、温泉とそれぞれに特色を持つ豊かな自然を有しており、中之島の中央部では鹿児島県の天然記念物に指定されているトカラウマが放牧されている。